

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

丸八通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」、「海岸通り」、「清洲橋通り」、「井ノ頭通り」、「葛西橋通り」、「中野通り」、「平和橋通り」、「大久保通り」、「蔵前橋通り」、「道灌山通り」、「川の手通り」、「自由通り」と歩いてきました。

今回は「丸八通り」を歩いています。丸八通りは墨田区立花の明治通りの小村井交差点を起点に、江東区南砂町駅入口交差点に至る延長約5kmの道です。

写真右上は丸八通りの道路名標識（都道476号線）です。道路名は小名木川にかかる丸太橋からつけられましたが、明治時代に「丸八」という名のお線香屋の名をとったという説があります。前は起点から大島稲荷神社まで歩きました。今回は大島稲荷神社から終点まで歩きます。

掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[大島稲荷神社] 江東区大島五丁目

最寄駅 都営地下鉄新宿線 大島駅

大島稲荷神社（写真下左）は小名木川岸に建ち、松尾芭蕉も参拝し一句詠んだゆかりの神社です。写真下右は句碑です。「秋に添て 行くはや末は 小松川」



[丸八橋] 江東区大島五丁目 最寄駅 都営地下鉄新宿線 大島駅

歩道橋に戻ると丸八橋（写真下左）で下は小名木川（写真下右）です。小名木川は旧中川と隅田川大川を東西に結ぶ運河です。江戸時代初期に徳川家康が小名木四郎兵衛に命じて開削した運河で、当時の行徳から江戸への塩の道です。



[砂町銀座] 江東区北砂四丁目（事務所）

最寄駅 都営地下鉄新宿線 西大島駅からバス利用



写真左は砂町銀座入口です
早朝なのでひっそりとしていま
すが、地域の生活に根付いた人
情味ある商店街です。
約 670mに 180 のお店がひしめ
くふれあいがある商店街とのこ
とです。

[亀高橋交差点] 江東区北砂四丁目

最寄駅 東京メトロ東西線 南砂駅

亀高橋交差点（写真下右）で清洲橋通り（都道 10 号線）と交差します。
左へ行くと東砂方面、右へ行くと清洲橋方面です。丸八通りは直進します。



[南砂六丁目交差点] 江東区南砂六丁目

最寄駅 東京メトロ東西線 南砂町駅

南砂六丁目交差点（写真下右）で葛西橋通り（都道 10 号線）と交差します。
左へ行くと葛西橋・浦安方面、右へ行くと永代橋方面です。丸八通りは直進しま
す。



東京メトロ東西線 南砂町駅
 (写真左)を通過して進むと
 終点の南砂町駅入口交差点です。
 東西線は中野区中野駅と千葉県
 船橋市西船橋駅までの地下鉄で
 茅場町・日本橋・大手町を通り、
 都心を東西に貫く路線です。

[南砂町駅入口交差点] 江東区新砂二丁目

最寄駅 東京メトロ東西線 南砂町駅

南砂町駅入口交差点 (写真下右) は丸八通りの終点で、永代通りと交差します。
 左へ行くと清砂大橋・葛西方面、右へ行くと東陽町駅・日本橋方面です。



これにて丸八通りを起点から終点まで歩きました。今まで歩いた蔵前橋通り、新大橋通り、清洲橋通り、葛西橋通り、永代橋通りで交差するたびに丸八通りの名が出ていたので、懐かしい思いで歩きました。新旧の歴史が入り混じった道でした。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、バーチャルウォーク「東海道五十三次」京上りに挑戦しています。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で2021年（令和3年）9月から歩きました。寅さん歩379 令和3年10月から掲載済です。

今回は宿場などを紹介しながらゆっくりと歩きます。現在やこれから東海五十三次を歩くウォーカーの皆様と街道途中でお会いするのを楽しみにしています。

2023年8月8日、お江戸日本橋（現在の中央区日本橋一丁目）を出発、2023年10月28日金谷宿（現在の静岡県島田市）（江戸日本橋から208km）に到着しました。各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介します。各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。



左の写真は「金谷 大井川 遠岸」です。大井川の渡河を島田宿に次いで連続で描いています。島田宿側の川岸から望んだ景観で、山間には金谷宿が見えます。輦台に載せられた大きな籠がもう一息で対岸に渡り終えます。

金谷宿川渡し場跡に説明版（写真下左）がありました。

金谷の郷土料理に「菜めし田楽」があります。菜めし（大根の葉っぱの混ぜご飯）（写真下右）に豆腐の田楽の組み合わせで葉の香りを楽しめます。そもそも飯の量を増やすために根葉を加えたという発想だそうです。



毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2kmを塗りつぶして進みます。マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷してご利用ください。

平野 寅次郎 拝